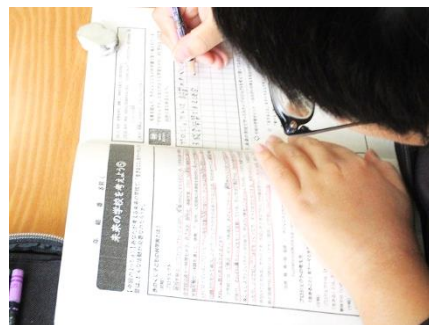




「未来の学校を考えよう」(5年生「総合的読解力育成カリキュラム」より)

「校長室だより」22号でお伝えしましたように、本校では、「新しい時代を生きる子どもに必要な資質・能力の育成 ～ 2030年学習指導要領に向けての基礎研究～」をテーマとして、実践研究に取り組んでいます。

11月12日には、今年度5回目の「授業研究会」を行いました。この日は、5年生の「総合的読解力育成カリキュラム」の学習の中から「未来の学校を考えよう」の授業を全教員で参観し、より効果的な指導・支援のあり方について討議しました。また、授業改善に向けて外部講師の先生に助言をいただきました。



大阪市では、昨年度から小学校3年生以上を対象に「総合的読解力育成カリキュラム」にもとづく学習を全小・中学校で実施しています。この学習では、「情報を読み取る」「考えを形成する」「考えを交流する」「考えを表現する」といった言語力の育成をねらいとして、大阪市が独自に作成した「総合的読解力育成カリキュラム」の教材を活用しながら様々なテーマで授業を進めます。昨年度は試行実施として年間8時間程度、今年度からは年間35時間程度の「総合的読解力」の学習を行います。

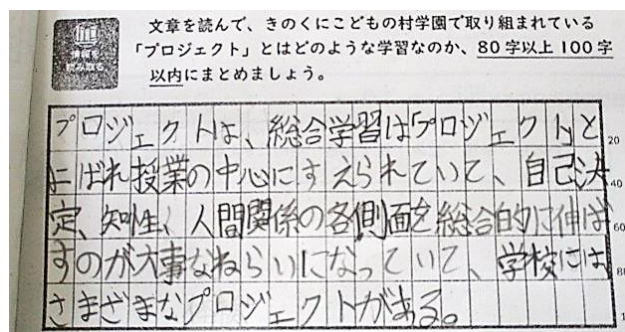
5年担当グループが設定している研究テーマは「協働的な学び」です。これは、子どもたちが互いに協力し、対話を通して、多様な他者とともに課題解決を行う学習活動を指します。5年担当グループの「友達と一緒に作成・編集したり、多様な意見を共有しながら合意形成を図ったりする活動を通して、同じ時間・空間をとともにする他者の存在や、互いの考えに触れて刺激し合うことの大切さを実感してほしい」という思いから、このテーマを設定しました。

5年生では、2学期に「総合的な学習の時間」を活用し、「未来の学校を考えよう」をテーマに学習を進めてきました。今回の授業では、「自分が考える未来の学校で、『生きること』をテーマにした学習には、どのような活動が必要なのか」を考えることをミッションとして学習に取り組みました。

授業の前半では、ミッションについてのイメージをもつために、「きのくに子どもの村学園」の取り組みを紹介したスライドを見てから、文章を読みました。子どもたちは、「この学校で取り組んでいる『プロジェクト』は、どんな学習なのだろう」という視点をもって文章を読み進めました。

文章を読む際には、大切だと思う言葉や文に線を引き、全体で確かめ合いながら要約文を作成しました。友達の考えを聞く中で、「なるほど」「そこも大事だね」と新たな気づきが生まれ、協力して要約をまとめることができました。

(※裏面に続く)

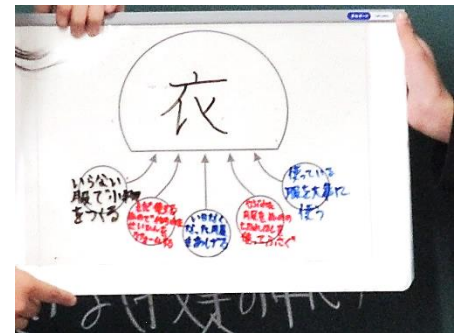
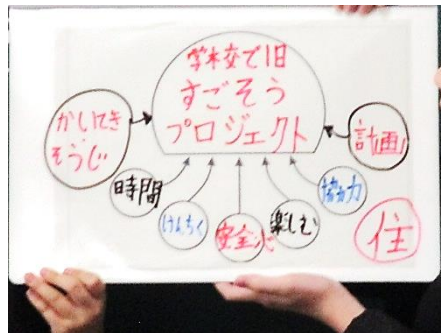
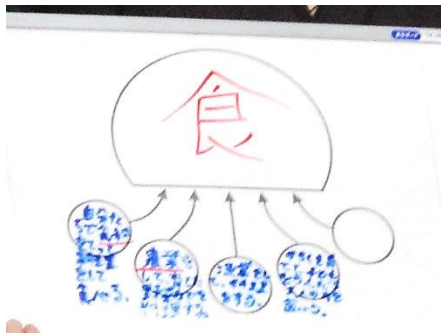




(※表面より)

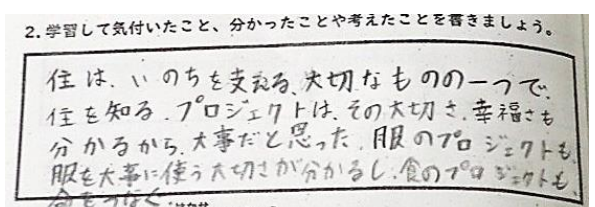
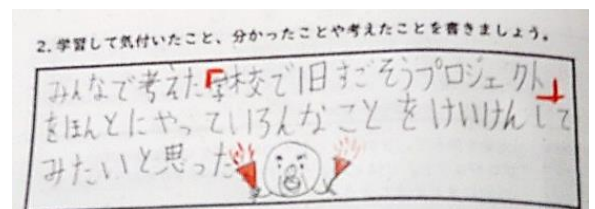
後半は、「生きること」をテーマに、「衣」「食」「住」の中から1つを選び、未来の学校で自分たちがやってみたい体験的な学習活動をグループで考えました。友達の意見を聞き合いながら、「それは面白そう」「こんな工夫もできそう」と、活発に話し合う姿が見られました。話し合った内容は考えの広がりやつながりが分かるよう、

クラゲチャートに整理し、その後、全体で交流しました。全体交流では、「学校で1日すごそうプロジェクト」「いらなくなった服を使って小物を作る学習」「自分たちで農業を行い、育てた野菜を料理する活動」など、生活と深く結びついた多様なプロジェクトが提案されました。どのグループも、自分たちの考えを自分の言葉で伝えようとする姿が印象的でした。



文章から必要な情報を読み取り、読み取った内容をもとに考えを広げ、仲間と協力してまとめ、発表する——こうした学習活動を積み重ねることで、子どもたちの読解力や思考力、表現力は少しずつではありますが確実に育ってきています。仲間とともに学ぶよさが随所に感じられる、実り多い1時間となりました。

「協働的な学び」は、さまざまな意見を出し合うことで学びを深め、新たな考えを生み出す力を育てることをねらいとしています。また、人と関わり、知恵を出し合い、協力し合う中で、互いを認め、尊重し合える人間関係を育むことも大切にしています。本校では、今後もさまざまな教科の学習を通して、将来の社会で必要な力を育んでいきたいと考えています。



※「校長室だより」カラー版は、本校ホームページ「配布文書」にアップしています。